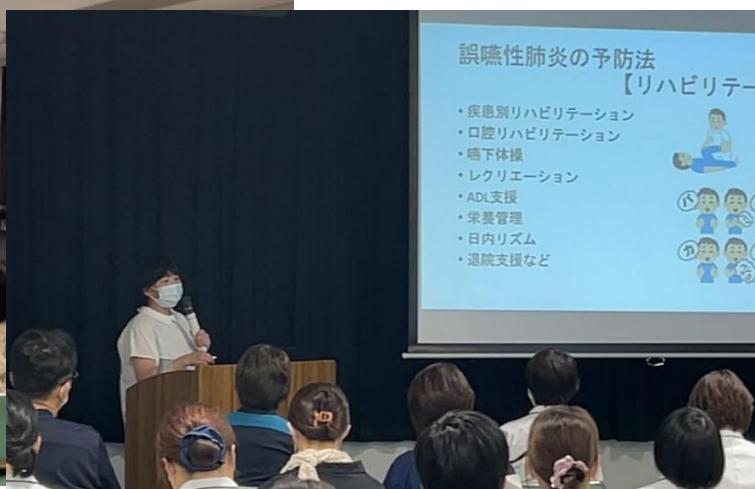




安来市立病院 地域連携室つうしん

NO.58
令和6年10月



看護部長 渡部純江

松江赤十字病院は、平成28年より安来第一病院との共催で、安来圏域地域医療従事者スキルアップセミナーを開催されています。当院も昨年からのこのセミナーの仲間入りをさせていただきました。

昨年、安来第一病院を会場に開催されたセミナーで、呼吸器疾患看護認定看護師による「誤嚥性肺炎を知る者は誤嚥性肺炎を制す」というテーマの講義を拝聴し、看護師だけでなくあらゆる職種のスタッフが誤嚥性肺炎についての知識を深める必要性を実感しました。そこで松江赤十字病院、地域医療連携課にご相談させていただき、本年6月19日に当院で誤嚥性肺炎をテーマにスキルアップセミナーを開催いたしました。当日は安来市内の介護施設や訪問看護ステーションからも多くの方にご参加いただきました。質疑応答では活発な意見交換が行われ、地域の高齢者に関わるスタッフが共通の問題意識を感じることがうかがえました。セミナーのタイトルである、地域医療従事者のスキルアップのために大変有意義な時間を共有することができました。

今後も安来圏域の医療・介護に携わるスタッフの知識・技術の向上に向けて、施設間の連携を図り、共に学びあうことのできる場を設けていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

この度、当院で資格を取得した看護師をご紹介します。



医療安全管理者 兼 感染管理者 藤井幸江

資格名 : 「感染管理認定看護師」

認定取得日 : 2023年11月30日

感染管理認定看護師資格とは

認定看護師は、「特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者」として日本看護協会の認定を受けた看護師です。

感染管理認定看護師は、感染リスクを最小限に抑えるために疫学や感染症学などの知識や技術を認められた看護師で島根県では20数名の感染管理認定看護師が登録されています。

役割・具体的な活動は？

感染管理認定看護師は患者様とご家族、訪問者、病院で働く全ての人を感染から守る役割があります。院内感染が起らないように、もし院内感染が起きても影響を最小限にして安全な医療を継続して提供するために部門・部署の垣根を越えて、組織横断的に活動します。また、地域の医療機関や高齢者施設等との感染対策における連携強化も図っていきたいと考えています。

地域包括ケア病棟 副看護師長 松本由夏

資格名 : 「防災士、まちの減災ナース指導」

認定取得日 : 2024年 2月26日



「防災士」資格とは

自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、一定の知識・技術を習得したことを日本防災士機構が認証した人の資格です。

「まちの減災ナース指導者防災士」資格とは

地元（地域や病院など組織）で研修会を開いて、「まちの減災ナース」を育てることが期待されています。平常時には関係機関と連携を取りながら、いざという時に「顔のわかる関係」を築くための活動を行うことが期待されています。

資格取得による当院への効果は？

島根県は災害が少ない県だと言われていたのですが、今はどこで自然災害が起こるかわかりません。地震・水害・火災・雪・原子力など様々な災害を予測しながら、病院全体での防災・減災の知識を向上していく必要があります。昨年度から看護部では災害研修を実施しており、今後は院内で災害研修を計画したり、シミュレーション研修を計画していきたいと考えています。また、安来市内での自主防災組織と連携して、地域防災への取り組みも一緒に行うことができればいいなと思っています。

放射線科【MRI、CTなどの検査】のご案内

【予約の流れについて】

- ① CT、MRI を依頼された場合は、紹介患者事前受付用 F A X 用紙《画像診断専用》を地域連携室に F A X をお願いいたします。
- ② 紹介患者事前受付用 F A X 用紙を受け取り、日程を調整後、F A X で紹介患者様予約受付表を返信いたします。
- ③ 造影が必要な場合は、火曜日および木曜日にご予約を承ります。
- ④ 読影の結果については、作成次第 F A X させていただきます。その後、郵送いたします。

CT、MRI の検査をされる患者様に、検査後はご依頼いただきました医院、病院等で結果を伝えられるようにご周知をしていただきますようお願いいたします。



全身撮像が可能な T i m テクノロジー搭載のシーメンス社製 1.5 T MRI 装置を導入しております。高速撮影技術も豊富に搭載されており、撮影時間の短縮また、スライス間の隙間のない画像の提供を可能にします。また体動補正技術により、モーションアーチファクト（画像がぼやける現象）も抑制できるため、あるゆる部位の断面を明瞭に描出します。装置による騒音対策として当院ではヘッドホンを着用し音楽を聞きながら検査を実施しております。また、患者様の持参された C D を流すことも可能となっております。



Canon 社製「Aquil ion Prime Sp」80 列マルチスライス CT 機器を導入しております。特徴として、1 回転最薄 0.5 mm 幅を用いて 1 度に 80 枚の断層画像を撮影することが可能です。高速撮影技術が搭載されており、胸部 CT 撮影時間は約 3 秒 撮影範囲 300 mm、頸部～骨盤 CT 撮影時間は約 10 秒 撮影範囲 800 mm 撮影可能で短時間で広範囲の情報を画像化できます。

低線量での撮影を実現し、CT 開口径がクラス最大の 78 cm で窮屈感を低減し患者様にやさしい装置設計となっております。

X 線骨密度測定装置の検査ができない患者様についてのお知らせ

- ① 植込型神経刺激装置
- ② ペースメーカー
- ③ 植込型除細動器
- ④ 持続グルコースモニター（リブレ）
- ⑤ その他の装着もしくは植込み型のセンサー などを装着されている患者。

安来市消防救急隊と当院を

ライン ワークス
つながり LINE WORKS

コミュニケーション
ツールを活用中！

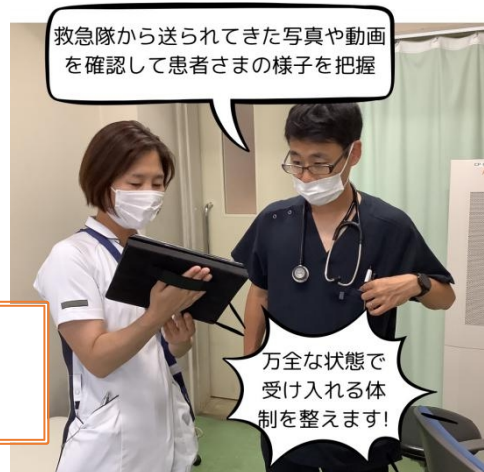


- ・安来消防と当院でLINE WORKSを導入しました。
- ・これは通常のLINEとは違う回線を使用してチャット、音声通話、画像（バイタル、お薬手帳、心電図データ）等の共有ができます。
- ・スタッフとの情報共有をスムーズにすることでスピーディな対応につながります。
- ・セキュリティも国際認証を取得した高いレベルを担保され、外部からのあらゆる脅威からも安全にサービスを保護しています。



①救急隊が救急患者と接触した時、LINEで写真などの視覚的情報を当院へ送ります。

②その情報を当直医師、看護師が確認します。



地域連携室よりお知らせ

医療関係者の皆様に、
空床情報を当院ホームページに掲載しております。

QRコードもしくは、
「安来市立病院」で
検索の上ご確認ください。



病院QRコード

安来市立病院 地域連携室

- ・連携室長：竹田裕司
 - ・在宅支援係：田中詳子、岡野由香里、安部容子
 - ・地域連携係：山本啓輔、玉木直之、祖田成子、金山亜友里
- 受付時間 8:30~17:00
【TEL】 0854-32-2333
【FAX】 0854-32-2335